

交付図書の訂正について

令和5年12月1日付けで入札公告を行った「(工事名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事」に係る交付図書に一部誤りがあったため、別添のとおり訂正します。

なお、訂正した交付図書は、競争参加資格申請者へ送付いたします。

令和6年3月21日

契約責任者

東日本高速道路株式会社北海道支社

支社長 堀 圭 一

【訂正図書】

- ・⑧【金抜設計書】道東自動車道 東占冠トンネル工事
- ・⑨【特記仕様書】道東自動車道 東占冠トンネル工事
- ・⑩【割掛対象表参考内訳書】道東自動車道 東占冠トンネル工事
- ・⑫【数量明細表（契約項目）】道東自動車道 東占冠トンネル工事
- ・④【設計図】道東自動車道 東占冠トンネル工事
- ・⑥【設計図】道東自動車道 東占冠トンネル工事
- ・⑫【参考図】道東自動車道 東占冠トンネル工事

※訂正箇所は、別添「正誤表」をご確認ください

正誤表(1)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

金抜設計書
単価表

誤

正

正誤区分

単 価 表

_____ B- 7 頁

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
73	8 - (2)	型わく D	1,462	m ²			
74	8 - (2)	型わく T	49,122	m ²			
75	8 - (2)	型わく T (L)	2,150	m ²			
76	8 - (2)	型わく T (S)	1,307	m ²			
77	8 - (3)	鉄筋 A	72.30	t			
78	8 - (3)	鉄筋 A (T)	528.53	t			
79	8 - (3)	鉄筋 C	1.75	t			
80	12 - (1)	トンネル掘削 CⅠ-a-B	43,245	m ³			
81	12 - (1)	トンネル掘削 CⅡ-a-B	5,596	m ³			
82	12 - (1)	トンネル掘削 CⅡ-b-B	21,183	m ³			
83	12 - (1)	トンネル掘削 CⅡ-b-SB	11,223	m ³			
84	12 - (1)	トンネル掘削 DⅠ-a-B	7,734	m ³			

_____ 頁

単 価 表

_____ B- 7 頁

番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘 要
73	8 - (2)	型わく D	1,462	m ²			
74	8 - (2)	型わく T	49,122	m ²			
75	8 - (2)	型わく T (L)	2,150	m ²			
76	8 - (2)	型わく T (S)	1,307	m ²			
77	8 - (3)	鉄筋 A	72.30	t			
78	8 - (3)	鉄筋 A (T)	528.53	t			
79	8 - (3)	鉄筋 C	1.75	t			
80	12 - (1)	トンネル掘削 CⅠ-a-B	43,245	m ³			
81	12 - (1)	トンネル掘削 CⅡ-a-B	5,596	m ³			
82	12 - (1)	トンネル掘削 CⅡ-b-B	21,210	m ³			
83	12 - (1)	トンネル掘削 CⅡ-b-SB	11,196	m ³			
84	12 - (1)	トンネル掘削 DⅠ-a-B	7,734	m ³			

_____ 頁

正誤表(2)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

誤

2 8-8 補強土壁工

(1) 定義

補強土壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従って行う、壁面材（コンクリートスキン）の組立・設置、盛土への補強材（鋼製ストリップ）の配置、連結部材（ボルト・ナット）・目地材・透水防止剤の設置、笠石コンクリートの施工を行うものをいう。

(2) 適用すべき諸基準

財団法人土木センター

・「補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル 第3回改訂版」（平成15年11月）（以下、29-12「補強土壁工」の記載中において「マニュアル」という。）

(3) 種別

補強土壁工の種別は、次のとおりとする。

単価表の項目	使用区分	摘要
補強土壁工		
帯鋼補強土壁 A	STA. 828+49～STA. 829+20 の補強土壁工に施工するもの	
補強土壁工		
帯鋼補強土壁 B	STA. 836+80～STA. 838+21 の補強土壁工に施工するもの	
補強土壁工		
帯鋼補強土壁 C	STA. 838+21～STA. 838+66 の補強土壁工に施工するもの	
補強土壁工		
基盤排水層	補強土壁工の底面に、地下水及び地山からの湧水等による補強領域内への侵入を防止するもの	
補強土壁工		
砕石置換工	不良な地盤を切込砕石（RC-40）で置換するもの	

(4) 材料

補強土壁工に使用する材料は、高強度リブ付ストリップ及びコンクリートスキントイプⅡとし、マニュアルの規格に適合するものでなければならない。

笠石コンクリートに用いるコンクリート、型わく、鉄筋は共通仕様書 第8章の関係各項の規定によるものとする。

また、補強土壁工の背面に用いる盛土材は、盛土工A3による搬入材料のうち、良質な材料を

使用するものとし、施工に先立ち必要な土質試験を実施するとともに、その結果を監督員に報告するものとする。なお、盛土材料が必要な条件を満足できないと監督員が認め、使用材料の変更等を指示した場合は、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。

(5) 施工

補強土壁工の施工は、共通仕様書 第8章の関係各項、マニュアルの規定に従って行うものとする。

(6) 数量の検測

補強土壁工の数量の検測は設計数量（㎡、m3）で行うものとする。

(7) 支払

補強土壁工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡、1m3当たりの契約単価で行うものとする。この契約単位には、設計図書及び監督員の指示に従って行う盛土材の施工に要する費用を除く、基盤排水層及び砕石設置工の材料の敷均し、壁面材の組立・設置、補強材と壁面材との緊結、壁面材裏面の透水防砂材、笠石コンクリートの施工等補強土壁工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
補強土壁工	
帯鋼補強土壁 A	㎡
帯鋼補強土壁 B	㎡
帯鋼補強土壁 C	㎡
基盤排水層	㎡
砕石置換工	m3

4-（23）

特記仕様書

28-8

補強土壁工

正

2 8-8 補強土壁工

(1) 定義

補強土壁工とは、設計図書及び監督員の指示に従って行う、壁面材（コンクリートスキン）の組立・設置、盛土への補強材（鋼製ストリップ）の配置、連結部材（ボルト・ナット）・目地材・透水防止剤の設置、笠石コンクリートの施工を行うものをいう。

(2) 適用すべき諸基準

財団法人土木センター

・「補強土（テールアルメ）壁工法設計・施工マニュアル 第3回改訂版」（平成15年11月）（以下、29-12「補強土壁工」の記載中において「マニュアル」という。）

(3) 種別

補強土壁工の種別は、次のとおりとする。

単価表の項目	使用区分	摘要
補強土壁工		
帯鋼補強土壁 A	STA. 828+49～STA. 829+20 の補強土壁工に施工するもの	
補強土壁工		
帯鋼補強土壁 B	STA. 836+80～STA. 838+21 の補強土壁工に施工するもの	
補強土壁工		
帯鋼補強土壁 C	STA. 838+21～STA. 838+66 の補強土壁工に施工するもの	
補強土壁工		
基盤排水層	補強土壁工の底面に、地下水及び地山からの湧水等による補強領域内への侵入を防止するもの	
補強土壁工		
砕石置換工	不良な地盤を切込砕石（RC-40）で置換するもの	

(4) 材料

補強土壁工に使用する材料は、高強度リブ付ストリップ及びコンクリートスキントイプⅡとし、マニュアルの規格に適合するものでなければならない。

笠石コンクリートに用いるコンクリート、型わく、鉄筋は共通仕様書 第8章の関係各項の規定によるものとする。

また、補強土壁工の背面に用いる盛土材のうち、現地発生材については、良質な材料を使用す

るものとし、施工に先立ち必要な土質試験を実施するとともに、その結果を監督員に報告するものとする。なお、盛土材料が必要な条件を満足できないと監督員が認め、使用材料の変更等を指示した場合は、これに要する費用については監督員と受注者との協議し定めるものとする。

(5) 施工

補強土壁工の施工は、共通仕様書 第8章の関係各項、マニュアルの規定に従って行うものとする。

(6) 数量の検測

補強土壁工の数量の検測は設計数量（㎡、m3）で行うものとする。

(7) 支払

補強土壁工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、それぞれ1㎡、1m3当たりの契約単価で行うものとする。この契約単位には、設計図書及び監督員の指示に従って行う盛土材の施工に要する費用を除く、基盤排水層及び砕石設置工の材料の敷均し、壁面材の組立・設置、補強材と壁面材との緊結、壁面材裏面の透水防砂材、笠石コンクリートの施工等補強土壁工の施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費を除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
補強土壁工	
帯鋼補強土壁 A	㎡
帯鋼補強土壁 B	㎡
帯鋼補強土壁 C	㎡
基盤排水層	㎡
砕石置換工	m3

4-（23）

正誤表(3)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

特記仕様書
28-12-3
凍上対策工

誤

2R-φ1.50・t=2.7 (C)	延伸パイプカルバートの施工及び吐口の新設、既設吐口を改良するもの
--------------------	----------------------------------

(2) 支払

コルゲートパイプカルバートの支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設吐き口の取壊し、新設吐き口の設置及びコルゲートパイプの設置、塗装等コルゲートパイプの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
6-(4)	コルゲートパイプカルバート
1R-φ1.50・t=2.7 (A)	m
1R-φ1.50・t=2.7 (C)	m
1R-φ1.50・t=3.2 (A)	m
1R-φ1.50・t=3.2 (C)	m
2R-φ1.50・t=2.7 (C)	m

28-12-3 凍上対策工

(1) 定義

凍上対策工とは、設計図書及び監督員の指示によりボックスカルバート側壁背面に断熱材を設置し、凍上対策を行うことをいう。

(2) 材料

凍上対策工に使用する材料は、設計図書及び監督員の指示による他、下記の規定のとおりとする。

項目	試験項目	試験方法	規格値	摘要
押出ポリエチレンフォーム保温板 (XPS) 1種b	熱伝導率	JIS A 9511	0.004 W/m・k 以下	
	圧縮強さ	JIS A 9511	16 N/cm 2 以上	
	曲げ強さ	JIS A 9511	20 N/cm 2 以上	
	吸水量	JIS A 9511	0.01 g/100cm2 以上	
裏面排水材	耐圧強度	JHS711	圧縮率 20%時の 75kN/m2 以上	
	通水断面	-	導水勾配 1/20 とした時 100cm2/sec 以上	

(3) 施工

凍上対策工の施工は、設計図書及び監督員の指示によるものとする。

(4) 数量の検測

凍上対策工の数量の検測は、設計数量 (㎡) で行うものとする。

(5) 支払

凍上対策工の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 ㎡当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う断熱材、防護合板の設

正

1R-φ1.50・t=3.2 (A)	延伸パイプカルバートの施工及び吐口を新設するもの
1R-φ1.50・t=3.2 (C)	延伸パイプカルバートの施工及び吐口の新設、既設吐口を改良するもの
2R-φ1.50・t=2.7 (C)	延伸パイプカルバートの施工及び吐口の新設、既設吐口を改良するもの

(2) 支払

コルゲートパイプカルバートの支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1m当りの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う既設吐き口の取壊し、新設吐き口の設置及びコルゲートパイプの設置、塗装等コルゲートパイプの施工に要する材料・労力・機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものを除くすべての費用を含むものとする。

単価表の項目	検測の単位
6-(4)	コルゲートパイプカルバート
1R-φ1.50・t=2.7 (A)	m
1R-φ1.50・t=2.7 (C)	m
1R-φ1.50・t=3.2 (A)	m
1R-φ1.50・t=3.2 (C)	m
2R-φ1.50・t=2.7 (C)	m

28-12-3 凍上対策工

(1) 定義

凍上対策工とは、設計図書及び監督員の指示によりボックスカルバート側壁背面に断熱材を設置し、凍上対策を行うことをいう。

(2) 材料

凍上対策工に使用する材料は、設計図書及び監督員の指示による他、下記の規定のとおりとする。

項目	試験項目	試験方法	規格値	摘要
押出ポリスチレンフォーム保温板 (XPS) 1種b	熱伝導率	JIS A 9511	0.040 W/m・k 以下	
	圧縮強さ	JIS A 9511	16 N/cm 2 以上	
	曲げ強さ	JIS A 9511	20 N/cm 2 以上	
	吸水量	JIS A 9511	0.01 g/100cm2 以下	
裏面排水材	耐圧強度	JHS711	圧縮率 20%時の 75kN/m2 以上	
	通水断面	-	導水勾配 1/20 とした時 100cm2/sec 以上	

(3) 施工

凍上対策工の施工は、設計図書及び監督員の指示によるものとする。

(4) 数量の検測

正誤表(4)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分
特記仕様書 28-24-1 率計上工事	誤	<p>2 8-2 4 率計上工事に関する事項</p> <p>2 8-2 4-1 率計上工事</p> <p>(1) 目的及び契約方法</p> <p>率計上工事とは、率計上工事に関する事項の単価項目の金額を他の特定の単価項目の金額に対する率計上により積算することにより、入札価格算出の簡素化を目的とするものである。当該部分の見積りについては、当初契約において一式として契約する。特記仕様書 2 8-2 4-1 (2) に示す率計上の考え方にに基づき算出するものとする。</p> <p>(2) 当初契約金額</p> <p>当初契約は、率計上に用いる単価表の項目は諸経費①による項目のうち、単価表の番号(1～2 1 6) の金額合計に対して4%を一式計上するものとする。金額の記載にあたっては、有効数字5ケタとし、有効数字6ケタ目を切り捨てとする。また、1 0 百万円未満の場合は、千円単位とし、千円未満の額については切り捨てとする。提出した単価表が特記仕様書に示す概略発注工事の見積り方法に基づき算出されていない場合、単価協議により単価表を修正するものとする。</p> <p>なお、契約締結後、率計上部分の対象項目については現地照査に基づき契約内容が確定した段階で契約書第1 9 条に基づき変更を行うものとする。</p> <p>また、率計上項目及び概算数量については、設計図書における率計上工事に関する契約参考図書に示し、参考として取り扱うものとする。</p>
	正	<p>2 8-2 4 率計上工事に関する事項</p> <p>2 8-2 4-1 率計上工事</p> <p>(1) 目的及び契約方法</p> <p>率計上工事とは、率計上工事に関する事項の単価項目の金額を他の特定の単価項目の金額に対する率計上により積算することにより、入札価格算出の簡素化を目的とするものである。当該部分の見積りについては、当初契約において一式として契約する。特記仕様書 2 8-2 4-1 (2) に示す率計上の考え方にに基づき算出するものとする。</p> <p>(2) 当初契約金額</p> <p>当初契約は、率計上に用いる単価表の項目は諸経費①による項目のうち、単価表の番号(1～2 1 7) の金額合計に対して4%を一式計上するものとする。金額の記載にあたっては、有効数字5ケタとし、有効数字6ケタ目を切り捨てとする。また、1 0 百万円未満の場合は、千円単位とし、千円未満の額については切り捨てとする。提出した単価表が特記仕様書に示す概略発注工事の見積り方法に基づき算出されていない場合、単価協議により単価表を修正するものとする。</p> <p>なお、契約締結後、率計上部分の対象項目については現地照査に基づき契約内容が確定した段階で契約書第1 9 条に基づき変更を行うものとする。</p> <p>また、率計上項目及び概算数量については、設計図書における率計上工事に関する契約参考図書に示し、参考として取り扱うものとする。</p>

正誤表(5)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

2号
補強土壁工
構造図(1)

正

2号補強土壁工 構造図(1) S=1:100
(STA. 828+49.774~STA. 829+20.313)

正面展開図

ストリップ記号一覧表

記号	ストリップ取付方法
—	ストリップ40×60(設計値)を敷設する。
—	コンクリートストリップの取付け位置を示し、補強ストリップ(土上段の設計値)を壁面方向に敷設する。
○	コンクリートストリップの取付け位置を示す。
△	補強ストリップ(土上段の設計値)の取付け位置を示す。
△	ストリップ(設計値)の取付け位置を示す。
△	設計値(40×60)の取付け位置を示す。
△	設計値(40×60)の取付け位置を示す。
△	設計値(40×60)の取付け位置を示す。

道東自動車道
東占冠トンネル工事
2号補強土壁工 構造図(1)
図 尺 1:100 図面番号
設計会社 株式会社 株式会社
施工会社 株式会社
監理会社 株式会社

2号補強土壁工 構造図(1) S=1:100
(STA. 828+49.774~STA. 829+20.313)

正面展開図

ストリップ記号一覧表

記号	ストリップ取付方法
—	ストリップ40×60(設計値)を敷設する。
—	コンクリートストリップの取付け位置を示し、補強ストリップ(土上段の設計値)を壁面方向に敷設する。
○	コンクリートストリップの取付け位置を示す。
△	補強ストリップ(土上段の設計値)の取付け位置を示す。
△	ストリップ(設計値)の取付け位置を示す。
△	設計値(40×60)の取付け位置を示す。
△	設計値(40×60)の取付け位置を示す。
△	設計値(40×60)の取付け位置を示す。

道東自動車道
東占冠トンネル工事
2号補強土壁工 構造図(1)
図 尺 1:100 図面番号
設計会社 株式会社 株式会社
施工会社 株式会社
監理会社 株式会社

正誤表(6)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

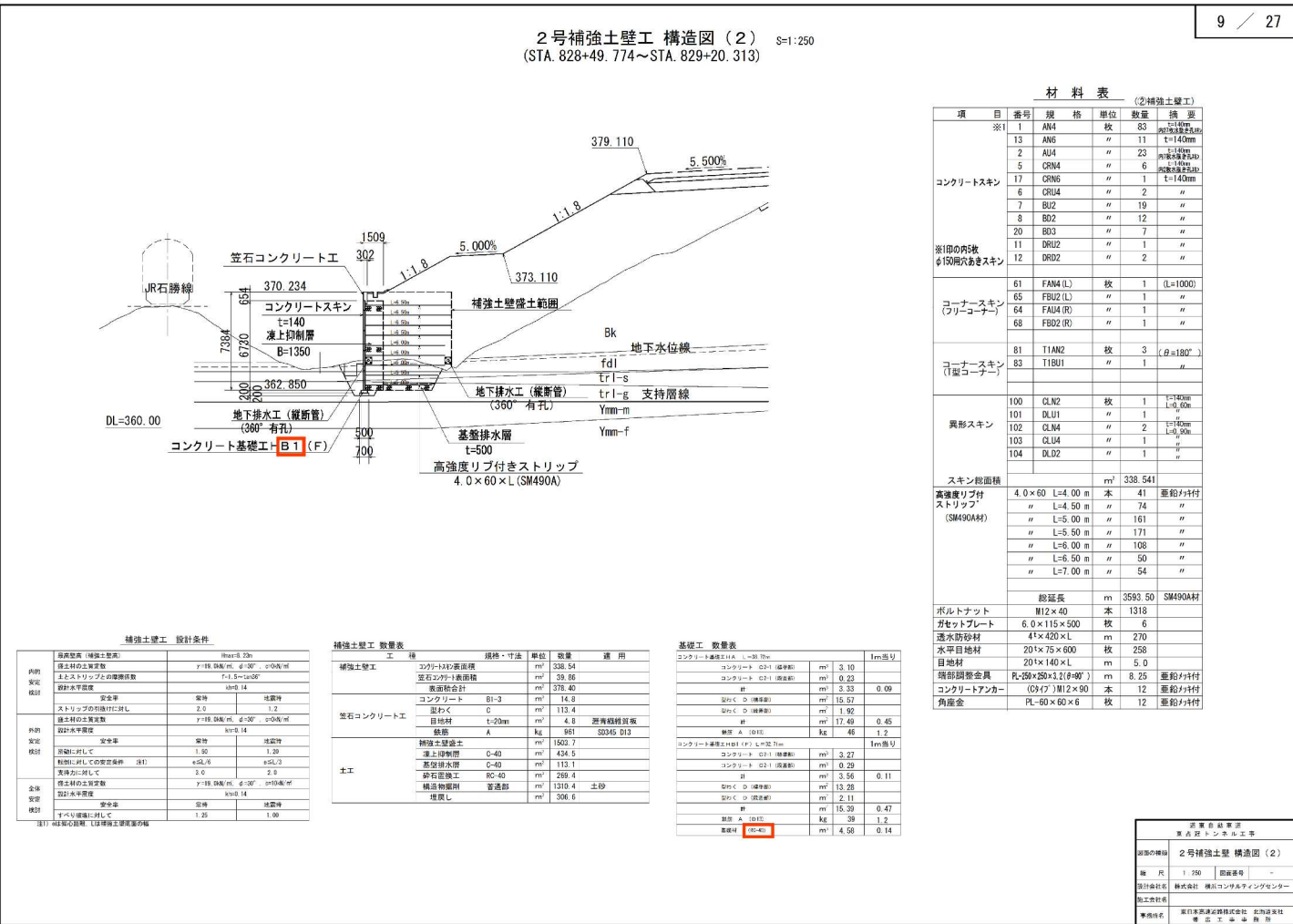
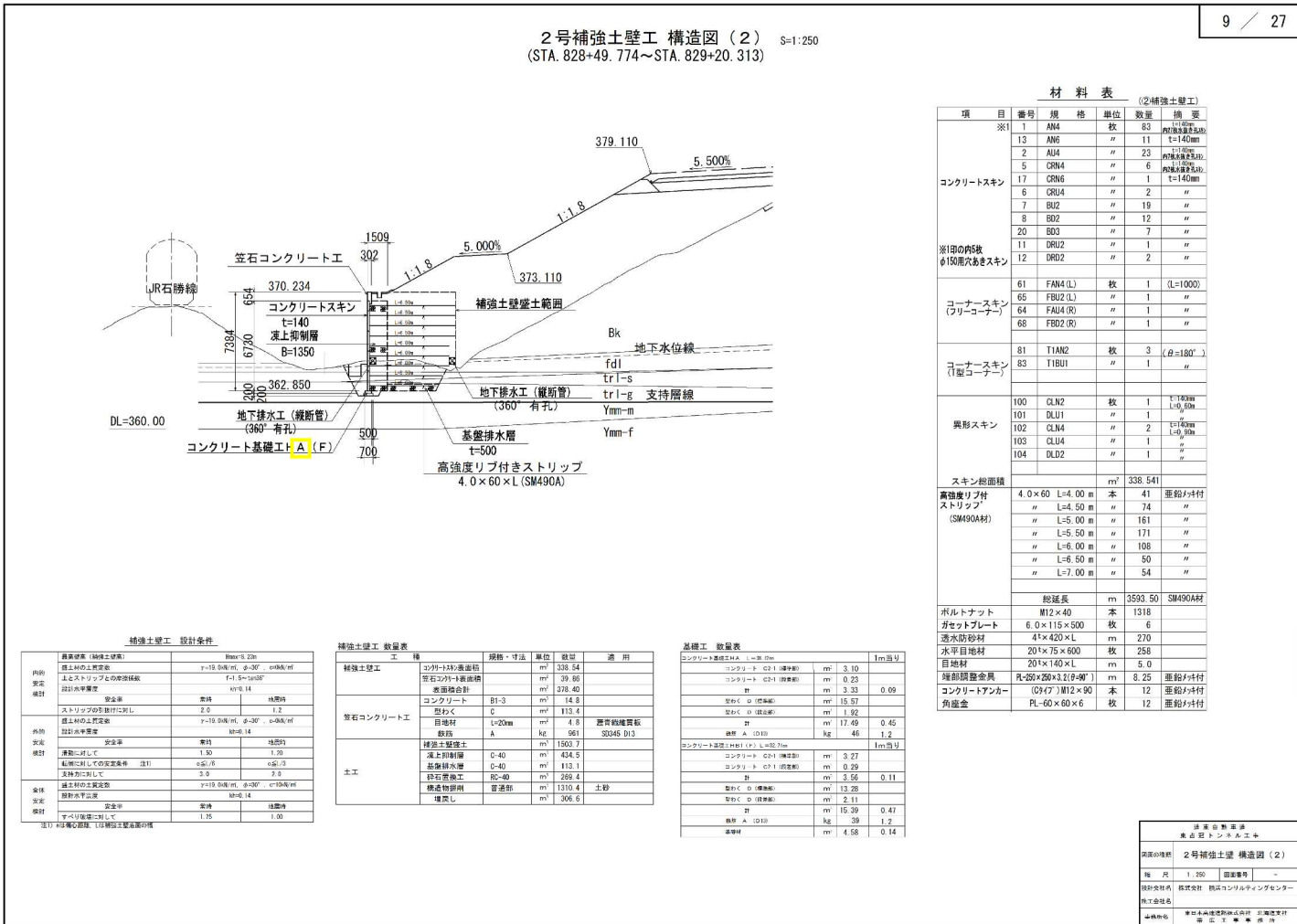
設計図

2号

補強土壁工

構造図(2)

正



正誤表(7)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分
設計図 2号 補強土壁工 詳細図	誤	<div>10 / 27</div> <div>2号補強土壁工 詳細図 (STA. 828+49.774~STA. 829+20.313)</div> <div><div>フリーコーナー詳細図 S=1:30</div><div>T型コーナー詳細図 S=1:20</div><div>基礎工詳細図 S=1:20</div><div>端部取付詳細図 S=1:5</div><div>コンクリートアンカーCタイプ S=1:1</div><div>端部調整金具 S=1:20</div><div>角座金 S=1:2</div><div>a部詳細図 S=1:5</div><div>ガセットプレート S=1:5</div><div>補助ストリップ敷設時</div></div> <div>道東自動車道 東占冠トンネル工事 図面の確認 2号補強土壁工 詳細図 図 尺 図面 図面番号 設計者 株式会社 株式会社 設計者 株式会社 株式会社 設計者 株式会社 株式会社 設計者 株式会社 株式会社</div>
	正	<div>10 / 27</div> <div>2号補強土壁工 詳細図 (STA. 828+49.774~STA. 829+20.313)</div> <div><div>フリーコーナー詳細図 S=1:30</div><div>T型コーナー詳細図 S=1:20</div><div>基礎工詳細図 S=1:20</div><div>端部取付詳細図 S=1:5</div><div>コンクリートアンカーCタイプ S=1:1</div><div>端部調整金具 S=1:20</div><div>角座金 S=1:2</div><div>a部詳細図 S=1:5</div><div>ガセットプレート S=1:5</div><div>補助ストリップ敷設時</div></div> <div>道東自動車道 東占冠トンネル工事 図面の確認 2号補強土壁工 詳細図 図 尺 図面 図面番号 設計者 株式会社 株式会社 設計者 株式会社 株式会社 設計者 株式会社 株式会社 設計者 株式会社 株式会社</div>

正誤表(8)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

設計図

3号

補強土壁工
構造図(3)

3号補強土壁工 構造図(3) S=1:250
(STA. 836+80.00~STA. 838+20.5958)

標準断面図

材料表

項目	材料	単位	数量	備考
コンクリートスクリュー	コンクリート	m ³	1441.19	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
基礎工	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13

設計図

3号

補強土壁工
構造図(3)

3号補強土壁工 構造図(3) S=1:250
(STA. 836+80.00~STA. 838+20.5958)

標準断面図

材料表

項目	材料	単位	数量	備考
コンクリートスクリュー	コンクリート	m ³	1441.19	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
基礎工	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13
	コンクリート	m ³	1551.99	
	鉄筋	kg	2224	SD345 B13

正誤表(9)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

3号

補強土壁工
詳細図

正

正誤表(10)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分
設計図 4号 補強土壁工 構造図	誤	<div>21 / 27</div> <div>4号補強土壁工 構造図 (STA. 838+20.5958~STA. 838+66.000) S=1:100</div> <div>正面展開図</div> <div>標準横断面図 S=1:250</div> <div>材料表</div> <div>基礎工 数量表</div> <div>補強土壁工 設計条件</div> <div>補強土壁工 数量表</div> <div>ストリップ記号一覧表</div>
	正	<div>21 / 27</div> <div>4号補強土壁工 構造図 (STA. 838+20.5958~STA. 838+66.000) S=1:100</div> <div>正面展開図</div> <div>標準横断面図 S=1:250</div> <div>材料表</div> <div>基礎工 数量表</div> <div>補強土壁工 設計条件</div> <div>補強土壁工 数量表</div> <div>ストリップ記号一覧表</div>

正誤表(11)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

[illegible]

正誤表(12)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

正

設計図
非常駐車
帯・避難連
絡坑一般図
(4)

非常駐車帯・避難連絡坑一般図(4)
A-A断面 S=1:250

(下り線)
CI-L(H)-B断面
STA 851+05
PH=404.598

(上り線)
CI-a-B断面
STA 851+00
PH=404.701

避難連絡坑取合い部撤去・補強工図 S=1:250

避難連絡坑 標準断面図 S=1:125

車道用
CI-B-S, CI-K-S1, CI-K-S2断面

a-a断面

位置図

名	形	寸	法	単	位	数	量	単	位	質	量	補	要
撤去ロックボルト	本	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
差込ロックボルト	本	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	耐力1700N以上

非常駐車帯・避難連絡坑一般図(4)
A-A断面 S=1:250

(下り線)
CI-L(H)-B断面
STA 851+05
PH=404.598

(上り線)
CI-a-B断面
STA 851+00
PH=404.701

避難連絡坑取合い部撤去・補強工図 S=1:250

避難連絡坑 標準断面図 S=1:125

車道用
CI-B-S, CI-K-S1, CI-K-S2断面

a-a断面

位置図

名	形	寸	法	単	位	数	量	単	位	質	量	補	要
撤去ロックボルト	本	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
差込ロックボルト	本	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	耐力290KN以上

正誤表(13)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																																																																																																																																				
設計図 仮設備配置 計画図（参 考図）	誤	<div><div>仮設備配置計画図(参考図) S=1:1,000</div><div><table><tr><th>番号</th><th>施設名称</th><th>大きさ(m)</th><th>面積(m²)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>①</td><td>発電設備</td><td>11.4×5.8</td><td>66.1</td><td>仮囲い含む</td></tr><tr><td>②</td><td>坑内換気設備</td><td>6.0×2.0</td><td>12.0</td><td></td></tr><tr><td>③</td><td>吹付プラント</td><td>23.0×6.0</td><td>138.0</td><td>40m³/h</td></tr><tr><td>④</td><td>湧水処理設備</td><td>17.0×2.5</td><td>42.5</td><td>機械式60°傾</td></tr><tr><td>⑤</td><td>給水ポンプ室</td><td>1.8×1.8</td><td>3.2</td><td></td></tr><tr><td>⑥</td><td>貯水槽</td><td>2.5×5.0</td><td>12.5</td><td>鋼板製20m³</td></tr><tr><td>⑦</td><td>修理工場</td><td>5.4×10.8</td><td>58.3</td><td>1F</td></tr><tr><td>⑧</td><td>資材置場</td><td>5.4×9.0</td><td>48.6</td><td>1F</td></tr><tr><td>⑨</td><td>作業員休憩所</td><td>5.4×9.0</td><td>58.3</td><td>2F</td></tr><tr><td>⑩</td><td>現場事務所</td><td>5.4×9.0</td><td>48.6</td><td>2F</td></tr><tr><td>⑪</td><td>資材倉庫</td><td></td><td>300.0</td><td></td></tr><tr><td>⑫</td><td>ずり仮置場</td><td></td><td>500.0</td><td></td></tr><tr><td>⑬</td><td>火薬取扱所</td><td>5.0×5.0</td><td>25.0</td><td>囲い含む</td></tr><tr><td>⑭</td><td>火薬火工所</td><td>5.0×5.0</td><td>25.0</td><td>囲い含む</td></tr><tr><td>⑮</td><td>取水設備</td><td>—</td><td>—</td><td>取水ポンプ</td></tr></table></div><div>10 / 40</div><div>仮設備配置計画図(参考図) S=1:1,000</div><div>道 東 自 動 車 道 東 占 冠 ト ン ネ ル 工 事 図面の種類 仮設備配置計画図 縮 尺 1:1,000 図面番号 — 設計者氏名 株式会社 オリエントコンサルタンツ 監工者氏名 承認者氏名 有限会社建設環境株式会社 佐藤 昌 博 承認者氏名 株式会社 豊 田 隆 博</div></div>		番号	施設名称	大きさ(m)	面積(m ²)	備 考	①	発電設備	11.4×5.8	66.1	仮囲い含む	②	坑内換気設備	6.0×2.0	12.0		③	吹付プラント	23.0×6.0	138.0	40m ³ /h	④	湧水処理設備	17.0×2.5	42.5	機械式60°傾	⑤	給水ポンプ室	1.8×1.8	3.2		⑥	貯水槽	2.5×5.0	12.5	鋼板製20m ³	⑦	修理工場	5.4×10.8	58.3	1F	⑧	資材置場	5.4×9.0	48.6	1F	⑨	作業員休憩所	5.4×9.0	58.3	2F	⑩	現場事務所	5.4×9.0	48.6	2F	⑪	資材倉庫		300.0		⑫	ずり仮置場		500.0		⑬	火薬取扱所	5.0×5.0	25.0	囲い含む	⑭	火薬火工所	5.0×5.0	25.0	囲い含む	⑮	取水設備	—	—	取水ポンプ	正	<div><div>仮設備配置計画図(参考図) S=1:1,000</div><div><table><tr><th>番号</th><th>施設名称</th><th>大きさ(m)</th><th>面積(m²)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>①</td><td>発電設備</td><td>11.4×5.8</td><td>66.1</td><td>仮囲い含む</td></tr><tr><td>②</td><td>坑内換気設備</td><td>6.0×2.0</td><td>12.0</td><td></td></tr><tr><td>③</td><td>吹付プラント</td><td>23.0×6.0</td><td>138.0</td><td>40m³/h</td></tr><tr><td>④</td><td>湧水処理設備</td><td>17.0×2.5</td><td>42.5</td><td>30°傾</td></tr><tr><td>⑤</td><td>給水ポンプ室</td><td>1.8×1.8</td><td>3.2</td><td></td></tr><tr><td>⑥</td><td>貯水槽</td><td>2.5×5.0</td><td>12.5</td><td>鋼板製20m³</td></tr><tr><td>⑦</td><td>修理工場</td><td>5.4×10.8</td><td>58.3</td><td>1F</td></tr><tr><td>⑧</td><td>資材置場</td><td>5.4×9.0</td><td>48.6</td><td>1F</td></tr><tr><td>⑨</td><td>作業員休憩所</td><td>5.4×9.0</td><td>58.3</td><td>2F</td></tr><tr><td>⑩</td><td>現場事務所</td><td>5.4×9.0</td><td>48.6</td><td>2F</td></tr><tr><td>⑪</td><td>資材倉庫</td><td></td><td>300.0</td><td></td></tr><tr><td>⑫</td><td>ずり仮置場</td><td></td><td>500.0</td><td></td></tr><tr><td>⑬</td><td>火薬取扱所</td><td>5.0×5.0</td><td>25.0</td><td>囲い含む</td></tr><tr><td>⑭</td><td>火薬火工所</td><td>5.0×5.0</td><td>25.0</td><td>囲い含む</td></tr><tr><td>⑮</td><td>取水設備</td><td>—</td><td>—</td><td>取水ポンプ</td></tr></table></div><div>10 / 40</div><div>仮設備配置計画図(参考図) S=1:1,000</div><div>道 東 自 動 車 道 東 占 冠 ト ン ネ ル 工 事 図面の種類 仮設備配置計画図 縮 尺 1:1,000 図面番号 — 設計者氏名 株式会社 オリエントコンサルタンツ 監工者氏名 承認者氏名 有限会社建設環境株式会社 佐藤 昌 博 承認者氏名 株式会社 豊 田 隆 博</div></div>		番号	施設名称	大きさ(m)	面積(m ²)	備 考	①	発電設備	11.4×5.8	66.1	仮囲い含む	②	坑内換気設備	6.0×2.0	12.0		③	吹付プラント	23.0×6.0	138.0	40m ³ /h	④	湧水処理設備	17.0×2.5	42.5	30°傾	⑤	給水ポンプ室	1.8×1.8	3.2		⑥	貯水槽	2.5×5.0	12.5	鋼板製20m ³	⑦	修理工場	5.4×10.8	58.3	1F	⑧	資材置場	5.4×9.0	48.6	1F	⑨	作業員休憩所	5.4×9.0	58.3	2F	⑩	現場事務所	5.4×9.0	48.6	2F	⑪	資材倉庫		300.0		⑫	ずり仮置場		500.0		⑬	火薬取扱所	5.0×5.0	25.0	囲い含む	⑭	火薬火工所	5.0×5.0	25.0	囲い含む	⑮	取水設備	—	—	取水ポンプ
	番号	施設名称	大きさ(m)	面積(m ²)	備 考																																																																																																																																																																	
①	発電設備	11.4×5.8	66.1	仮囲い含む																																																																																																																																																																		
②	坑内換気設備	6.0×2.0	12.0																																																																																																																																																																			
③	吹付プラント	23.0×6.0	138.0	40m ³ /h																																																																																																																																																																		
④	湧水処理設備	17.0×2.5	42.5	機械式60°傾																																																																																																																																																																		
⑤	給水ポンプ室	1.8×1.8	3.2																																																																																																																																																																			
⑥	貯水槽	2.5×5.0	12.5	鋼板製20m ³																																																																																																																																																																		
⑦	修理工場	5.4×10.8	58.3	1F																																																																																																																																																																		
⑧	資材置場	5.4×9.0	48.6	1F																																																																																																																																																																		
⑨	作業員休憩所	5.4×9.0	58.3	2F																																																																																																																																																																		
⑩	現場事務所	5.4×9.0	48.6	2F																																																																																																																																																																		
⑪	資材倉庫		300.0																																																																																																																																																																			
⑫	ずり仮置場		500.0																																																																																																																																																																			
⑬	火薬取扱所	5.0×5.0	25.0	囲い含む																																																																																																																																																																		
⑭	火薬火工所	5.0×5.0	25.0	囲い含む																																																																																																																																																																		
⑮	取水設備	—	—	取水ポンプ																																																																																																																																																																		
番号	施設名称	大きさ(m)	面積(m ²)	備 考																																																																																																																																																																		
①	発電設備	11.4×5.8	66.1	仮囲い含む																																																																																																																																																																		
②	坑内換気設備	6.0×2.0	12.0																																																																																																																																																																			
③	吹付プラント	23.0×6.0	138.0	40m ³ /h																																																																																																																																																																		
④	湧水処理設備	17.0×2.5	42.5	30°傾																																																																																																																																																																		
⑤	給水ポンプ室	1.8×1.8	3.2																																																																																																																																																																			
⑥	貯水槽	2.5×5.0	12.5	鋼板製20m ³																																																																																																																																																																		
⑦	修理工場	5.4×10.8	58.3	1F																																																																																																																																																																		
⑧	資材置場	5.4×9.0	48.6	1F																																																																																																																																																																		
⑨	作業員休憩所	5.4×9.0	58.3	2F																																																																																																																																																																		
⑩	現場事務所	5.4×9.0	48.6	2F																																																																																																																																																																		
⑪	資材倉庫		300.0																																																																																																																																																																			
⑫	ずり仮置場		500.0																																																																																																																																																																			
⑬	火薬取扱所	5.0×5.0	25.0	囲い含む																																																																																																																																																																		
⑭	火薬火工所	5.0×5.0	25.0	囲い含む																																																																																																																																																																		
⑮	取水設備	—	—	取水ポンプ																																																																																																																																																																		

正誤表(14)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

誤

設計図

坑口処理工図

(2)

(参考図)

正

坑口処理工図(2)(参考図) S=1:250
(終点側坑口)

20 / 40

正面図
STA. 863+40
PH=414.033

縦断面図
東山トンネル(下り線) L=2468.000m

詳細図 S=1:25

数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
掘削材	L=50×50×6	kg	435.0	
土のう	625mmφ	袋	2.607	
外 型 枠	キーストンプレート AKD 650x25x1.2	m ²	46.6	
吹付けコンクリート	t=200mm	m ²	618.9	(AKD650x25x1.2)
コンクリート吹付	t=100mm	m ²	45.3	
やらす	H=200×200 L=6500	本	368.1	
コンクリート	(18-8-40N)	m ³	2.0	
基礎コンクリート	型枠	m ²	8.0	

設計図
坑口処理工図
(2)
(参考図)

坑口処理工図(2)(参考図) S=1:250
(終点側坑口)

20 / 40

正面図
STA. 863+40
PH=414.033

縦断面図
東山トンネル(下り線) L=2468.000m

詳細図 S=1:25

数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
掘削材	L=50×50×6	kg	435.0	
土のう	625mmφ	袋	2.607	
外 型 枠	キーストンプレート AKD 650x25x1.2	m ²	46.6	
吹付けコンクリート	t=200mm	m ²	618.9	(AKD650x25x1.2)
コンクリート吹付	t=100mm	m ²	45.3	
やらす	H=200×200 L=6500	本	368.1	
コンクリート	(18-8-40N)	m ³	2.0	
基礎コンクリート	型枠	m ²	8.0	

設計図
坑口処理工図(2)(参考図)

正誤表(15)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

正誤区分

21 / 40

誤

正

設計図

避難連絡坑
施工次第図
(1)
(参考図)

避難連絡坑施工次第図(1)(参考図) S=1:250

(下り線) CII-L(H)-B断面 STA. 844+41

(上り線) CII-L-B断面 STA. 844+36

[より補強工設置] より線トンネル夜間通行止め規制

①-1計画工事番設置

②-2施工区間に防護工設置

[制岩発破工法]

③穿孔(油圧クラッドドリル150kg級)

④ずり崩し・崩出(ホイールローダ3.07t)

⑤収付付(収付機207t)

⑥ロックボルト打設(油圧クラッドドリル150kg級)

[掘削工法(油圧くさび)]

⑦穿孔(ホイールジャンボ2ブーム油圧150kg級)

⑧SASロッドφ102mm連続穿孔用

⑨一次破砕(油圧くさび計石力230kN)

図面情報

図面の種類 避難連絡坑施工次第図(1)(参考図)

縮尺 1:250

図面番号 -

設計者 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

監理者 株式会社

製図者 株式会社

避難連絡坑施工次第図(1)(参考図) S=1:250

(下り線) CII-L(H)-B断面 STA. 844+41

(上り線) CII-L-B断面 STA. 844+36

[より補強工設置] より線トンネル夜間通行止め規制

①-1計画工事番設置

②-2施工区間に防護工設置

[制岩発破工法]

③穿孔(油圧クラッドドリル150kg級)

④ずり崩し・崩出(ホイールローダ3.07t)

⑤収付付(収付機207t)

⑥ロックボルト打設(油圧クラッドドリル150kg級)

[掘削工法(油圧くさび)]

⑦穿孔(ホイールジャンボ2ブーム油圧150kg級)

⑧SASロッドφ102mm連続穿孔用

⑨一次破砕(油圧くさび計石力230kN)

図面情報

図面の種類 避難連絡坑施工次第図(1)(参考図)

縮尺 1:250

図面番号 -

設計者 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

監理者 株式会社

製図者 株式会社

正誤表(16)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

[illegible]

正誤表(17)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所	正誤区分
<div data-bbox="457 943 499 988">誤</div> <div data-bbox="216 1397 403 1694">設計図 避難連絡坑 施工次第図 (5) (参考図)</div>	<div data-bbox="548 483 1877 1430"><p>避難連絡坑施工次第図 (5) (参考図) S=1:250</p><p>25 / 40</p><p>(下り線) D I-L (H)-B 断面 STA. 858+55</p><p>(上り線) D I-a-B 断面 STA. 858+47</p><p>ホイールジャンプ 2ブーム油圧150kg級 ホイールジャンプ 2ブーム油圧150kg級</p><p>【避難連絡坑工法】 ① 穿孔 (油圧クローラドリル150kg級) ② 掘削・搬出 (ホイールローダ3.07t) ③ 破砕 (破砕機30t) ④ ロックボルト打設 (油圧クローラドリル150kg級)</p><p>【避難工法 (油圧くさび)】 ① 穿孔 (ホイールジャンプ2ブーム油圧150kg級) ② S&S ロッド 100mm 連続穿孔用 ③ 一次破砕 (油圧くさび破砕機20t)</p><p>道東自動車道 東占冠トンネル工事 図面の規模 避難連絡坑施工次第図 (5) (参考図) 縮尺 1:250 図面番号 - 設計者 株式会社 青森県土木設計センター 監理者 株式会社 青森県土木設計センター 製図者 株式会社 青森県土木設計センター</p></div>
<div data-bbox="457 2101 499 2145">正</div>	<div data-bbox="548 1653 1877 2599"><p>避難連絡坑施工次第図 (5) (参考図) S=1:250</p><p>25 / 40</p><p>(下り線) D I-L (H)-B 断面 STA. 858+55</p><p>(上り線) D I-a-B 断面 STA. 858+47</p><p>【避難連絡坑工法】 ① 穿孔 (油圧クローラドリル150kg級) ② 掘削・搬出 (ホイールローダ3.07t) ③ 破砕 (破砕機30t) ④ ロックボルト打設 (油圧クローラドリル150kg級)</p><p>【避難工法 (油圧くさび)】 ① 穿孔 (ホイールジャンプ2ブーム油圧150kg級) ② S&S ロッド 100mm 連続穿孔用 ③ 一次破砕 (油圧くさび破砕機20t)</p><p>道東自動車道 東占冠トンネル工事 図面の規模 避難連絡坑施工次第図 (5) (参考図) 縮尺 1:250 図面番号 - 設計者 株式会社 青森県土木設計センター 監理者 株式会社 青森県土木設計センター 製図者 株式会社 青森県土木設計センター</p></div>

正誤表(18)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																		
誤	割掛対象表 参考内訳書 1/5	<div>割掛対象表参考内訳書 1 / 5</div> <table><tr><th colspan="4">【共通仮設費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）</td><td>トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 ホイールダ（トラクタショベル）サイドダンプ 3.0m³級 24 t：1 台ー1 往復 ダンプトラック 25 t 積み 20 t：8 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）</td><td>本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 リッパ付ブルドーザ 32 t：8 台ー1 往復 バックホウ 1.0m³ 以上：8 台ー1 往復 湿地ブルドーザ 20 t 級：8 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）</td><td>自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離ー約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20 t 級：1 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）</td><td>トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170 k g 級 ：1 台ー1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150 k g 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22m³/h 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機 20m³/h 級 ：1 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）</td><td>仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー3 往復 クローラークレーン 120 t 級：1 台ー2 往復 クローラークレーン 50 t～55 t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 65t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 70 t 級：1 台ー1 往復 ○現場内移動 【運搬距離ー約 6km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー片道</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）</td><td>地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 バックホウ 1.4 m³級（ベースマシン） ：1 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）</td><td>トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）</td><td>仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 工事用仮橋橋工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr><tr><td>電 力 基 本 料 金 費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>電力基本料金費ートンネル高圧電力 A 総電力使用量：384 万 kwh ー北海道電力（株）</td><td>—</td></tr><tr><td>土 質 等 試 験 費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。</td><td>「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」による試験ー1 検体 （盛土工：1 検体）</td><td>—</td></tr></table>		【共通仮設費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 ホイールダ（トラクタショベル）サイドダンプ 3.0m ³ 級 24 t：1 台ー1 往復 ダンプトラック 25 t 積み 20 t：8 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 リッパ付ブルドーザ 32 t：8 台ー1 往復 バックホウ 1.0m ³ 以上：8 台ー1 往復 湿地ブルドーザ 20 t 級：8 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離ー約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20 t 級：1 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170 k g 級 ：1 台ー1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150 k g 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機 20m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー3 往復 クローラークレーン 120 t 級：1 台ー2 往復 クローラークレーン 50 t～55 t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 65t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 70 t 級：1 台ー1 往復 ○現場内移動 【運搬距離ー約 6km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー片道	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 バックホウ 1.4 m ³ 級（ベースマシン） ：1 台ー1 往復	—	仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費	—	仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 工事用仮橋橋工で使用する仮設材の運搬費	—	電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	電力基本料金費ートンネル高圧電力 A 総電力使用量：384 万 kwh ー北海道電力（株）	—	土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。	「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」による試験ー1 検体 （盛土工：1 検体）	—	正
	【共通仮設費】																																																			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																																	
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 ホイールダ（トラクタショベル）サイドダンプ 3.0m ³ 級 24 t：1 台ー1 往復 ダンプトラック 25 t 積み 20 t：8 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 リッパ付ブルドーザ 32 t：8 台ー1 往復 バックホウ 1.0m ³ 以上：8 台ー1 往復 湿地ブルドーザ 20 t 級：8 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離ー約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20 t 級：1 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170 k g 級 ：1 台ー1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150 k g 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機 20m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー3 往復 クローラークレーン 120 t 級：1 台ー2 往復 クローラークレーン 50 t～55 t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 65t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 70 t 級：1 台ー1 往復 ○現場内移動 【運搬距離ー約 6km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー片道	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 バックホウ 1.4 m ³ 級（ベースマシン） ：1 台ー1 往復	—																																																	
仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費	—																																																	
仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 工事用仮橋橋工で使用する仮設材の運搬費	—																																																	
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	電力基本料金費ートンネル高圧電力 A 総電力使用量：384 万 kwh ー北海道電力（株）	—																																																	
土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。	「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」による試験ー1 検体 （盛土工：1 検体）	—																																																	
割掛対象表 参考内訳書 1/5	<div>割掛対象表参考内訳書 1 / 5</div> <table><tr><th colspan="4">【共通仮設費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）</td><td>トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 ホイールダ（トラクタショベル）サイドダンプ 3.0m³級 24 t：1 台ー1 往復 ダンプトラック 25 t 積み 20 t：8 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）</td><td>本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 リッパ付ブルドーザ 32 t：8 台ー1 往復 バックホウ 1.0m³ 以上：8 台ー1 往復 湿地ブルドーザ 20 t 級：8 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）</td><td>自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離ー約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20 t 級：1 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）</td><td>トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170 k g 級 ：1 台ー1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150 k g 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22m³/h 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機 20m³/h 級 ：1 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）</td><td>仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー3 往復 クローラークレーン 120 t 級：1 台ー2 往復 クローラークレーン 50 t～55 t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 65t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 70 t 級：1 台ー1 往復 ○現場内移動 【運搬距離ー約 6km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー片道</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）</td><td>地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 バックホウ 1.4 m³級（ベースマシン） ：1 台ー1 往復</td><td>—</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）</td><td>トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr><tr><td>仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）</td><td>仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。</td><td>○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 工事用仮橋橋工で使用する仮設材の運搬費</td><td>—</td></tr><tr><td>電 力 基 本 料 金 費</td><td>電力等の基本料に要する費用をいう。</td><td>電力基本料金費ートンネル高圧電力 A 総電力使用量：387 万 kwh ー北海道電力（株）</td><td>—</td></tr><tr><td>土 質 等 試 験 費</td><td>施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。</td><td>「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」による試験ー1 検体 （盛土工：1 検体）</td><td>—</td></tr></table>	【共通仮設費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 ホイールダ（トラクタショベル）サイドダンプ 3.0m ³ 級 24 t：1 台ー1 往復 ダンプトラック 25 t 積み 20 t：8 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 リッパ付ブルドーザ 32 t：8 台ー1 往復 バックホウ 1.0m ³ 以上：8 台ー1 往復 湿地ブルドーザ 20 t 級：8 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離ー約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20 t 級：1 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170 k g 級 ：1 台ー1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150 k g 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機 20m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー3 往復 クローラークレーン 120 t 級：1 台ー2 往復 クローラークレーン 50 t～55 t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 65t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 70 t 級：1 台ー1 往復 ○現場内移動 【運搬距離ー約 6km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー片道	—	工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 バックホウ 1.4 m ³ 級（ベースマシン） ：1 台ー1 往復	—	仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費	—	仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 工事用仮橋橋工で使用する仮設材の運搬費	—	電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	電力基本料金費ートンネル高圧電力 A 総電力使用量：387 万 kwh ー北海道電力（株）	—	土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。	「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」による試験ー1 検体 （盛土工：1 検体）	—			
【共通仮設費】																																																				
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																																	
工 事 用 機 械 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する質量 20t 以上の建設機械の貨物自動車等による運搬及び運搬時の損料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 ホイールダ（トラクタショベル）サイドダンプ 3.0m ³ 級 24 t：1 台ー1 往復 ダンプトラック 25 t 積み 20 t：8 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 土 工 ）	本線部道路掘削、客土掘削及び盛土工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 リッパ付ブルドーザ 32 t：8 台ー1 往復 バックホウ 1.0m ³ 以上：8 台ー1 往復 湿地ブルドーザ 20 t 級：8 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 自 工 区 外 盛 土 場 ）	自工区外盛土場で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○現場（一線沢盛土場）から基地 【運搬距離ー約 150km（片道）】 湿地ブルドーザ 20 t 級：1 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 3 ブームホイールジャンボ 170 k g 級 ：1 台ー1 往復 2 ブームホイールジャンボ 150 k g 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機エレクトラ型 6～22m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復 コンクリート吹付機 20m ³ /h 級 ：1 台ー1 往復	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー3 往復 クローラークレーン 120 t 級：1 台ー2 往復 クローラークレーン 50 t～55 t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 65t 級：1 台ー1 往復 クローラークレーン 70 t 級：1 台ー1 往復 ○現場内移動 【運搬距離ー約 6km（片道）】 クローラークレーン 200 t 級：1 台ー片道	—																																																	
工 事 用 機 械 分 解 組 立 費 （ 地 盤 改 良 ）	地盤改良工で使用する重建設機械の分解、組立、輸送及び運搬時の損料または賃料に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 バックホウ 1.4 m ³ 級（ベースマシン） ：1 台ー1 往復	—																																																	
仮 設 材 等 運 搬 費 （ ト ン ネ ル ）	トンネル工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 避難連絡坑防護工で使用する仮設材の運搬費	—																																																	
仮 設 材 等 運 搬 費 （ 仮 設 構 造 物 工 ）	仮設構造物工で使用する仮設材（H型鋼、鋼矢板、覆工板等）の運搬に要する費用をいう。	○基地から現場 【運搬距離ー約 140km（片道）】 工事用仮橋橋工で使用する仮設材の運搬費	—																																																	
電 力 基 本 料 金 費	電力等の基本料に要する費用をいう。	電力基本料金費ートンネル高圧電力 A 総電力使用量：387 万 kwh ー北海道電力（株）	—																																																	
土 質 等 試 験 費	施工管理要領に記載されている項目以外の試験に要する費用。	「JGS0172-2009 凍上性判定のための土の凍上試験方法」による試験ー1 検体 （盛土工：1 検体）	—																																																	

正誤表(19)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																																																																																								
割掛対象表 参考内訳書 2/5	誤	<div>割掛対象表参考内訳書 2 /5</div> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>地 質 試 験 費</td><td>平板載荷試験等に要する費用をいう。</td><td>STA.834+54.867 付近 C-Bx : 1箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>ロックボルト長さ検査費</td><td>トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器供用日数 : 43.4ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>監 督 員 詰 所 費</td><td>監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。</td><td>建物面積 : 30.0 m²程度 工事期間 : 78.0ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>火 薬 庫 費</td><td>火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 : 42.8ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>トンネル呼吸用防護具費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長 : 2,449m</td><td>—</td></tr><tr><td>非 破 壊 検 査 試 験 費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>起点側坑門工—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所 C-Bx—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>基 準 試 験 費</td><td>中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。</td><td>基準試験 A (T1-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回</td><td>—</td></tr><tr><td>配 合 試 験 費</td><td>地盤改良工及び安定処理工の室内配合試験に要する費用をいう。</td><td>起点側坑門工付近 : 1回 終点側坑門工付近 : 1回</td><td>—</td></tr></table> <div>【準備工事費】</div> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>工 事 用 道 路 維 持 補 修 費</td><td>工事用道路 (本線内工事用道路を除く) の維持 (散水) に要する費用をいう。</td><td>散水車 5,500 L : 34.5ヶ月 滝の沢工事用道路① 滝の沢工事用道路② 滝の沢工事用道路③</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費</td><td>泥落し装置に要する費用をいう。</td><td>○滝の沢工事用道路①出入口付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月 ○STA.828+60 付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>坑 内 外 仮 設 備 保 守 費</td><td>坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。</td><td>昼夜2交代 (9h2方) : 43.4ヶ月 (掘削開始～掘削完了まで)</td><td>—</td></tr><tr><td>坑 内 仮 排 水 設 備 費</td><td>坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。</td><td>タイヤ方式、素掘り側溝 : L=2,449m 期間 : 44.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)</td><td>—</td></tr></table>				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	地 質 試 験 費	平板載荷試験等に要する費用をいう。	STA.834+54.867 付近 C-Bx : 1箇所	—	ロックボルト長さ検査費	トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数 : 43.4ヶ月	—	監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	建物面積 : 30.0 m ² 程度 工事期間 : 78.0ヶ月	—	火 薬 庫 費	火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 : 42.8ヶ月	—	トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長 : 2,449m	—	非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点側坑門工—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所 C-Bx—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所	—	基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。	基準試験 A (T1-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回	—	配 合 試 験 費	地盤改良工及び安定処理工の室内配合試験に要する費用をいう。	起点側坑門工付近 : 1回 終点側坑門工付近 : 1回	—	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工 事 用 道 路 維 持 補 修 費	工事用道路 (本線内工事用道路を除く) の維持 (散水) に要する費用をいう。	散水車 5,500 L : 34.5ヶ月 滝の沢工事用道路① 滝の沢工事用道路② 滝の沢工事用道路③	—	工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費	泥落し装置に要する費用をいう。	○滝の沢工事用道路①出入口付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月 ○STA.828+60 付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月	—	坑 内 外 仮 設 備 保 守 費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交代 (9h2方) : 43.4ヶ月 (掘削開始～掘削完了まで)	—	坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘り側溝 : L=2,449m 期間 : 44.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	—	正	<div>割掛対象表参考内訳書 2 /5</div> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>地 質 試 験 費</td><td>平板載荷試験等に要する費用をいう。</td><td>STA.834+54.867 付近 C-Bx : 1箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>ロックボルト長さ検査費</td><td>トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。</td><td>超音波探傷器供用日数 : 43.4ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>監 督 員 詰 所 費</td><td>監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。</td><td>建物面積 : 30.0 m²程度 工事期間 : 78.0ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>火 薬 庫 費</td><td>火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。</td><td>火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 : 42.8ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>トンネル呼吸用防護具費</td><td>トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。</td><td>電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長 : 2,449m</td><td>—</td></tr><tr><td>非 破 壊 検 査 試 験 費</td><td>コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。</td><td>起点側坑門工—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所 C-Bx—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所</td><td>—</td></tr><tr><td>基 準 試 験 費</td><td>中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。</td><td>基準試験 A (T1-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回</td><td>—</td></tr><tr><td>配 合 試 験 費</td><td>地盤改良工及び安定処理工の室内配合試験に要する費用をいう。</td><td>起点側坑門工付近 : 1回 終点側坑門工付近 : 1回</td><td>—</td></tr></table> <div>【準備工事費】</div> <table><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳 (参考)</th><th>図面</th></tr><tr><td>工 事 用 道 路 維 持 補 修 費</td><td>工事用道路 (本線内工事用道路を除く) の維持 (散水) に要する費用をいう。</td><td>散水車 5,500 L : 34.5ヶ月 滝の沢工事用道路① 滝の沢工事用道路② 滝の沢工事用道路③</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費</td><td>泥落し装置に要する費用をいう。</td><td>○滝の沢工事用道路①出入口付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月 ○STA.828+60 付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>坑 内 外 仮 設 備 保 守 費</td><td>坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。</td><td>昼夜2交代 (9h2方) : 43.4ヶ月 (掘削開始～掘削完了まで)</td><td>—</td></tr><tr><td>坑 内 仮 排 水 設 備 費</td><td>坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。</td><td>タイヤ方式、素掘り側溝 : L=2,449m 期間 : 44.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) <div><突込み施工> ・ φ80mm 3.7kw 44.9ヶ月 1台 ・ φ80mm 3.7kw 23.2ヶ月 1台 ・ φ80mm 1.5kw 8.9ヶ月 1台</div></td><td>—</td></tr></table>				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	地 質 試 験 費	平板載荷試験等に要する費用をいう。	STA.834+54.867 付近 C-Bx : 1箇所	—	ロックボルト長さ検査費	トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数 : 43.4ヶ月	—	監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	建物面積 : 30.0 m ² 程度 工事期間 : 78.0ヶ月	—	火 薬 庫 費	火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 : 42.8ヶ月	—	トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長 : 2,449m	—	非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点側坑門工—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所 C-Bx—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所	—	基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。	基準試験 A (T1-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回	—	配 合 試 験 費	地盤改良工及び安定処理工の室内配合試験に要する費用をいう。	起点側坑門工付近 : 1回 終点側坑門工付近 : 1回	—	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面	工 事 用 道 路 維 持 補 修 費	工事用道路 (本線内工事用道路を除く) の維持 (散水) に要する費用をいう。	散水車 5,500 L : 34.5ヶ月 滝の沢工事用道路① 滝の沢工事用道路② 滝の沢工事用道路③	—	工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費	泥落し装置に要する費用をいう。	○滝の沢工事用道路①出入口付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月 ○STA.828+60 付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月	—	坑 内 外 仮 設 備 保 守 費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交代 (9h2方) : 43.4ヶ月 (掘削開始～掘削完了まで)	—	坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘り側溝 : L=2,449m 期間 : 44.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) <div><突込み施工> ・ φ80mm 3.7kw 44.9ヶ月 1台 ・ φ80mm 3.7kw 23.2ヶ月 1台 ・ φ80mm 1.5kw 8.9ヶ月 1台</div>	—
	割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																																																																						
地 質 試 験 費	平板載荷試験等に要する費用をいう。	STA.834+54.867 付近 C-Bx : 1箇所	—																																																																																																																							
ロックボルト長さ検査費	トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数 : 43.4ヶ月	—																																																																																																																							
監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	建物面積 : 30.0 m ² 程度 工事期間 : 78.0ヶ月	—																																																																																																																							
火 薬 庫 費	火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 : 42.8ヶ月	—																																																																																																																							
トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長 : 2,449m	—																																																																																																																							
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点側坑門工—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所 C-Bx—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所	—																																																																																																																							
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。	基準試験 A (T1-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回	—																																																																																																																							
配 合 試 験 費	地盤改良工及び安定処理工の室内配合試験に要する費用をいう。	起点側坑門工付近 : 1回 終点側坑門工付近 : 1回	—																																																																																																																							
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																																																																							
工 事 用 道 路 維 持 補 修 費	工事用道路 (本線内工事用道路を除く) の維持 (散水) に要する費用をいう。	散水車 5,500 L : 34.5ヶ月 滝の沢工事用道路① 滝の沢工事用道路② 滝の沢工事用道路③	—																																																																																																																							
工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費	泥落し装置に要する費用をいう。	○滝の沢工事用道路①出入口付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月 ○STA.828+60 付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月	—																																																																																																																							
坑 内 外 仮 設 備 保 守 費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交代 (9h2方) : 43.4ヶ月 (掘削開始～掘削完了まで)	—																																																																																																																							
坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘り側溝 : L=2,449m 期間 : 44.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで)	—																																																																																																																							
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																																																																							
地 質 試 験 費	平板載荷試験等に要する費用をいう。	STA.834+54.867 付近 C-Bx : 1箇所	—																																																																																																																							
ロックボルト長さ検査費	トンネルのロックボルト長さ検査に要する費用をいう。	超音波探傷器供用日数 : 43.4ヶ月	—																																																																																																																							
監 督 員 詰 所 費	監督員詰所の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	建物面積 : 30.0 m ² 程度 工事期間 : 78.0ヶ月	—																																																																																																																							
火 薬 庫 費	火薬庫の営繕 (設置・撤去、維持・補修) に要する費用をいう。	火薬庫・火工品庫・取扱所・火工所 : 42.8ヶ月	—																																																																																																																							
トンネル呼吸用防護具費	トンネル工事における電動ファン付き粉じん用呼吸用防護具に要する費用をいう。	電動ファン付呼吸用保護具 掘削延長 : 2,449m	—																																																																																																																							
非 破 壊 検 査 試 験 費	コンクリート構造物の非破壊検査による鉄筋かぶり確認に要する費用をいう。	起点側坑門工—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所 C-Bx—上向 : 2箇所、側面 : 4箇所	—																																																																																																																							
基 準 試 験 費	中流動コンクリートの配合を決定するための基準試験に要する費用をいう。	基準試験 A (T1-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回 基準試験 B (T3-4) 試し練り : 1回 実機試験 : 1回	—																																																																																																																							
配 合 試 験 費	地盤改良工及び安定処理工の室内配合試験に要する費用をいう。	起点側坑門工付近 : 1回 終点側坑門工付近 : 1回	—																																																																																																																							
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳 (参考)	図面																																																																																																																							
工 事 用 道 路 維 持 補 修 費	工事用道路 (本線内工事用道路を除く) の維持 (散水) に要する費用をいう。	散水車 5,500 L : 34.5ヶ月 滝の沢工事用道路① 滝の沢工事用道路② 滝の沢工事用道路③	—																																																																																																																							
工 事 車 両 泥 落 し 装 置 費	泥落し装置に要する費用をいう。	○滝の沢工事用道路①出入口付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月 ○STA.828+60 付近 : 1箇所 鋼製泥落し装置 (全輪かさ上げ乾式型) 設置・撤去 : 1回 設置期間 : 49ヶ月	—																																																																																																																							
坑 内 外 仮 設 備 保 守 費	坑内及び坑外の仮設備の維持・点検保守に要する費用をいう。	昼夜2交代 (9h2方) : 43.4ヶ月 (掘削開始～掘削完了まで)	—																																																																																																																							
坑 内 仮 排 水 設 備 費	坑内仮排水用の排水溝又は素掘側溝及び覆工箇所等のサンドポンプに要する費用をいう。	タイヤ方式、素掘り側溝 : L=2,449m 期間 : 44.9ヶ月 (掘削開始～覆工完了まで) <div><突込み施工> ・ φ80mm 3.7kw 44.9ヶ月 1台 ・ φ80mm 3.7kw 23.2ヶ月 1台 ・ φ80mm 1.5kw 8.9ヶ月 1台</div>	—																																																																																																																							

正誤表(20)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所		正誤区分																																																					
誤	割掛対象表 参考内訳書 3/5	<div>割掛対象表参考内訳書 3 /5</div> <table><tr><th colspan="4">【仮設備工事費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>足 場 工 費 （ 非 常 駐 車 帯 ）</td><td>トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【くさび緊結式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：156.8 空 m³</td><td>—</td></tr><tr><td>足 場 工 費 （ 明 か り 部 ）</td><td>明り部の函渠工、擁壁工、坑門工、補強土壁及びはく落防止対策工Bの施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【一般構造物足場】 C-B x ： 312.2 空 m³ 置換え基礎 ： 433.7 空 m³ 抱き擁壁 ： 652.5 空 m³ 終点側坑門部： 245.5 空 m³ 【ブラケット足場】 補強土壁 ： 279m 【移動足場】 既設C-B x ： 4 日 （トラック架装リフトブーム型：揚程 8m～12 m未満）</td><td>—</td></tr><tr><td>支 保 工 費 （ 明 か り 部 ）</td><td>明り部のコンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。</td><td>C-B x ： 346.9 空 m³</td><td>—</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転費</td><td>ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。</td><td>補助ベンチ付全断面工法 延運転月数：210.4 ヶ月 運転労務 ：48.5 ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往復まで復走行時間：13.9 分、インバート掘削数量：25799.0m³</td><td>—</td></tr><tr><td>吹 付 設 備 費</td><td>トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。</td><td>吹付プラント設備組立・解体：1 式 （掘削開始～掘削完了まで） 設備期間：43.4 ヶ月 （基礎コンクリートの処分含む）</td><td>—</td></tr><tr><td>積 卸 し 設 備 費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>掘削の単独施工期間：43.4 ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.5 ヶ月 タイヤ方式</td><td>—</td></tr><tr><td>換 気 設 備 費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機 3, 000m³／min（160kw×2） 設置・撤去：1 回 160kw×1：21.9 ヶ月 160kw×2：16.6 ヶ月 電気式集じん機（2,700m³／min）：30.3 ヶ月 設置・撤去1 回</td><td>—</td></tr><tr><td>給 水 設 備 費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。</td><td>給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：239m 坑内配管延長：2,449m、 給水ポンプ：設備期間：44.9 ヶ月 （掘削開始～覆工完了まで）</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 設 備 費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>爆破掘削、トンネル片押し延長：2,449m 受電位置から坑口までの距離：370m</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 費</td><td>トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：30333k w 電力使用期間：49 ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：2,449m</td><td>—</td></tr></table>		【仮設備工事費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	足 場 工 費 （ 非 常 駐 車 帯 ）	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：156.8 空 m³	—	足 場 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部の函渠工、擁壁工、坑門工、補強土壁及びはく落防止対策工Bの施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【一般構造物足場】 C-B x ： 312.2 空 m³ 置換え基礎 ： 433.7 空 m³ 抱き擁壁 ： 652.5 空 m³ 終点側坑門部： 245.5 空 m³ 【ブラケット足場】 補強土壁 ： 279m 【移動足場】 既設C-B x ： 4 日 （トラック架装リフトブーム型：揚程 8m～12 m未満）	—	支 保 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部のコンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	C-B x ： 346.9 空 m³	—	ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法 延運転月数：210.4 ヶ月 運転労務 ：48.5 ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往復まで復走行時間：13.9 分、インバート掘削数量：25799.0m³	—	吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1 式 （掘削開始～掘削完了まで） 設備期間：43.4 ヶ月 （基礎コンクリートの処分含む）	—	積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：43.4 ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.5 ヶ月 タイヤ方式	—	換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3, 000m³／min（160kw×2） 設置・撤去：1 回 160kw×1：21.9 ヶ月 160kw×2：16.6 ヶ月 電気式集じん機（2,700m³／min）：30.3 ヶ月 設置・撤去1 回	—	給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：239m 坑内配管延長：2,449m、 給水ポンプ：設備期間：44.9 ヶ月 （掘削開始～覆工完了まで）	—	工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：2,449m 受電位置から坑口までの距離：370m	—	工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：30333k w 電力使用期間：49 ヶ月	—	足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：2,449m	—
	【仮設備工事費】																																																						
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																																				
足 場 工 費 （ 非 常 駐 車 帯 ）	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：156.8 空 m³	—																																																				
足 場 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部の函渠工、擁壁工、坑門工、補強土壁及びはく落防止対策工Bの施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【一般構造物足場】 C-B x ： 312.2 空 m³ 置換え基礎 ： 433.7 空 m³ 抱き擁壁 ： 652.5 空 m³ 終点側坑門部： 245.5 空 m³ 【ブラケット足場】 補強土壁 ： 279m 【移動足場】 既設C-B x ： 4 日 （トラック架装リフトブーム型：揚程 8m～12 m未満）	—																																																				
支 保 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部のコンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	C-B x ： 346.9 空 m³	—																																																				
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法 延運転月数：210.4 ヶ月 運転労務 ：48.5 ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往復まで復走行時間：13.9 分、インバート掘削数量：25799.0m³	—																																																				
吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1 式 （掘削開始～掘削完了まで） 設備期間：43.4 ヶ月 （基礎コンクリートの処分含む）	—																																																				
積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：43.4 ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.5 ヶ月 タイヤ方式	—																																																				
換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3, 000m³／min（160kw×2） 設置・撤去：1 回 160kw×1：21.9 ヶ月 160kw×2：16.6 ヶ月 電気式集じん機（2,700m³／min）：30.3 ヶ月 設置・撤去1 回	—																																																				
給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：239m 坑内配管延長：2,449m、 給水ポンプ：設備期間：44.9 ヶ月 （掘削開始～覆工完了まで）	—																																																				
工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：2,449m 受電位置から坑口までの距離：370m	—																																																				
工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：30333k w 電力使用期間：49 ヶ月	—																																																				
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：2,449m	—																																																				
正	割掛対象表 参考内訳書 3/5	<div>割掛対象表参考内訳書 3 /5</div> <table><tr><th colspan="4">【仮設備工事費】</th></tr><tr><th>割掛対象表の項目名称</th><th>工事の内容</th><th>数量内訳（参考）</th><th>図面</th></tr><tr><td>足 場 工 費 （ 非 常 駐 車 帯 ）</td><td>トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【くさび緊結式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：156.8 空 m³</td><td>—</td></tr><tr><td>足 場 工 費 （ 明 か り 部 ）</td><td>明り部の函渠工、擁壁工、坑門工、補強土壁及びはく落防止対策工Bの施工に必要な足場工に要する費用をいう。</td><td>【一般構造物足場】 C-B x ： 312.2 空 m³ 置換え基礎 ： 433.7 空 m³ 抱き擁壁 ： 652.5 空 m³ 終点側坑門部： 245.5 空 m³ 【ブラケット足場】 補強土壁 ： 279m 【移動足場】 既設C-B x ： 4 日 （トラック架装リフトブーム型：揚程 8m～12 m未満）</td><td>—</td></tr><tr><td>支 保 工 費 （ 明 か り 部 ）</td><td>明り部のコンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。</td><td>C-B x ： 346.9 空 m³</td><td>—</td></tr><tr><td>ダンプトラック運転費</td><td>ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。</td><td>補助ベンチ付全断面工法 延運転月数：210.4 ヶ月 運転労務 ：48.5 ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往復まで復走行時間：13.9 分、インバート掘削数量：25799.0m³</td><td>—</td></tr><tr><td>吹 付 設 備 費</td><td>トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。</td><td>吹付プラント設備組立・解体：1 式 （掘削開始～掘削完了まで） 設備期間：43.4 ヶ月 （基礎コンクリートの処分含む）</td><td>—</td></tr><tr><td>積 卸 し 設 備 費</td><td>坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。</td><td>掘削の単独施工期間：43.4 ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.5 ヶ月 タイヤ方式</td><td>—</td></tr><tr><td>換 気 設 備 費</td><td>トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。</td><td>送風機 3, 000m³／min（160kw×2） 設置・撤去：1 回 160kw×1：21.9 ヶ月 160kw×2：16.6 ヶ月 電気式集じん機（2,700m³／min）：30.3 ヶ月 設置・撤去1 回</td><td>—</td></tr><tr><td>給 水 設 備 費</td><td>トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。</td><td>給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：239m 坑内配管延長：2,449m、 給水ポンプ：設備期間：44.9 ヶ月 （掘削開始～覆工完了まで）</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 設 備 費</td><td>トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。</td><td>爆破掘削、トンネル片押し延長：2,449m 受電位置から坑口までの距離：370m</td><td>—</td></tr><tr><td>工 事 用 電 力 費</td><td>トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。</td><td>総設備負荷合計容量：30598k w 電力使用期間：49 ヶ月</td><td>—</td></tr><tr><td>足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）</td><td>トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。</td><td>足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：2,449m</td><td>—</td></tr></table>		【仮設備工事費】				割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面	足 場 工 費 （ 非 常 駐 車 帯 ）	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：156.8 空 m³	—	足 場 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部の函渠工、擁壁工、坑門工、補強土壁及びはく落防止対策工Bの施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【一般構造物足場】 C-B x ： 312.2 空 m³ 置換え基礎 ： 433.7 空 m³ 抱き擁壁 ： 652.5 空 m³ 終点側坑門部： 245.5 空 m³ 【ブラケット足場】 補強土壁 ： 279m 【移動足場】 既設C-B x ： 4 日 （トラック架装リフトブーム型：揚程 8m～12 m未満）	—	支 保 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部のコンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	C-B x ： 346.9 空 m³	—	ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法 延運転月数：210.4 ヶ月 運転労務 ：48.5 ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往復まで復走行時間：13.9 分、インバート掘削数量：25799.0m³	—	吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1 式 （掘削開始～掘削完了まで） 設備期間：43.4 ヶ月 （基礎コンクリートの処分含む）	—	積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：43.4 ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.5 ヶ月 タイヤ方式	—	換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3, 000m³／min（160kw×2） 設置・撤去：1 回 160kw×1：21.9 ヶ月 160kw×2：16.6 ヶ月 電気式集じん機（2,700m³／min）：30.3 ヶ月 設置・撤去1 回	—	給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：239m 坑内配管延長：2,449m、 給水ポンプ：設備期間：44.9 ヶ月 （掘削開始～覆工完了まで）	—	工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：2,449m 受電位置から坑口までの距離：370m	—	工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：30598k w 電力使用期間：49 ヶ月	—	足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：2,449m	—
	【仮設備工事費】																																																						
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面																																																				
足 場 工 費 （ 非 常 駐 車 帯 ）	トンネル非常駐車帯の施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【くさび緊結式手すり先行専用足場】 非常駐車帯端部：156.8 空 m³	—																																																				
足 場 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部の函渠工、擁壁工、坑門工、補強土壁及びはく落防止対策工Bの施工に必要な足場工に要する費用をいう。	【一般構造物足場】 C-B x ： 312.2 空 m³ 置換え基礎 ： 433.7 空 m³ 抱き擁壁 ： 652.5 空 m³ 終点側坑門部： 245.5 空 m³ 【ブラケット足場】 補強土壁 ： 279m 【移動足場】 既設C-B x ： 4 日 （トラック架装リフトブーム型：揚程 8m～12 m未満）	—																																																				
支 保 工 費 （ 明 か り 部 ）	明り部のコンクリート構造物施工時、所定の形状のコンクリート構造物に仕上げるため、仮設の支保構造物に要する費用をいう。	C-B x ： 346.9 空 m³	—																																																				
ダンプトラック運転費	ずり処理工に使用するダンプトラックの供用日損料及び坑内ずり運搬の補助労務に要する費用をいう。	補助ベンチ付全断面工法 延運転月数：210.4 ヶ月 運転労務 ：48.5 ヶ月 昼夜2交代、地山分類：C及びD、坑外仮置場往復まで復走行時間：13.9 分、インバート掘削数量：25799.0m³	—																																																				
吹 付 設 備 費	トンネルの吹付コンクリート工の坑外設備に要する費用をいう。	吹付プラント設備組立・解体：1 式 （掘削開始～掘削完了まで） 設備期間：43.4 ヶ月 （基礎コンクリートの処分含む）	—																																																				
積 卸 し 設 備 費	坑口付近に設置するロックボルト、鋼アーチ支保工等の荷卸し設備に要する費用及び坑内運搬車の損料、労務費用をいう。	掘削の単独施工期間：43.4 ヶ月 覆作業単独の施工期間：1.5 ヶ月 タイヤ方式	—																																																				
換 気 設 備 費	トンネルの施工に伴い発生する有害物質を、許容濃度以下に希釈するのに必要な換気設備に要する費用をいう。	送風機 3, 000m³／min（160kw×2） 設置・撤去：1 回 160kw×1：21.9 ヶ月 160kw×2：16.6 ヶ月 電気式集じん機（2,700m³／min）：30.3 ヶ月 設置・撤去1 回	—																																																				
給 水 設 備 費	トンネル掘削等でのせん孔、コンクリート打設及び坑外設備の洗浄等に必要な給水設備に要する費用をいう。	給水管：本坑、設置撤去、坑外配管延長：239m 坑内配管延長：2,449m、 給水ポンプ：設備期間：44.9 ヶ月 （掘削開始～覆工完了まで）	—																																																				
工 事 用 電 力 設 備 費	トンネル坑内・外の引込設備、受電設備、配電設備及び証明設備等の二次側電力設備に要する費用をいう。	爆破掘削、トンネル片押し延長：2,449m 受電位置から坑口までの距離：370m	—																																																				
工 事 用 電 力 費	トンネル坑内、外の動力及びトンネル坑内の照明用の使用電力料をいう。	総設備負荷合計容量：30598k w 電力使用期間：49 ヶ月	—																																																				
足場費（覆工防水工・補強鉄筋用）	トンネルの覆工防水工、補強鉄筋の施工に必要な足場台車に要する費用をいう。	足場台車、損料・組立・解体：一式 覆工防水工延長：2,449m	—																																																				

正誤表(21)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

修正箇所

誤

割掛対象表
参考内訳書
4/5

正誤区分

誤

割掛対象表
参考内訳書
4/5

割掛対象表参考内訳書 4 /5			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
プラント冬季養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水用のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度：5℃ 気積：約 1,200 m ³ 期間：21.4 ヶ月	
汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度：5℃ 気積：約 500 m ³ 期間：22.0 ヶ月	—
【雑工事費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
切土部施工基面の整形費	共通仕様書 2－6－5（6）の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形：2,341.3 m ² 土砂： 922.7m ² 軟岩：1,418.6m ²	—
のり面仕上げ費	共通仕様書 2－6－5（8）及び 2－7－5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	盛土部のり面仕上げ（1：1.8）：21,728 m ² 切土部のり面仕上げ（1：1.8）土砂：1,236 m ² 切土部のり面仕上げ（1：1.5）軟岩：284 m ²	—
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	【切土・盛土施工時】 本線部 STA.828+60 付近：1 箇所 （沈砂池：65m ³ 程度、ブルーシート（3.6×5.4：8 枚、土のう 75 袋） 本線部 STA.832+60 付近：1 箇所 （沈砂池：50m ³ 程度、ブルーシート（3.6×5.4：6 枚、土のう 67 袋） 本線部 STA.835+10 付近：1 箇所 （沈砂池：65m ³ 程度、ブルーシート（3.6×5.4：8 枚、土のう 75 袋）：1 箇所	—
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間：42.8 ヶ月 （割岩掘削工法 0.6 ヶ月を除く）	—
構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	C－B x：VP（φ40）L＝56.7m 抱き擁壁：VP（φ75）L＝18.6m 透水材：30cm×30cm(t＝5cm) L＝58.7m	—
目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	抱き擁壁：目地板（t＝2cm）40 m ² C－B x：目地板（t＝2cm）18 m ² 大型コンクリートブロック積み（t＝2cm）16.3 m ² 2号補強土壁工（t＝2cm）4.8 m ² 3号補強土壁工（t＝2cm）469.7 m ² 4号補強土壁工（t＝2cm）3.3 m ²	—
箱抜き費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	箱抜き部型枠：783.0 m ² 箱抜き部補強プレート設置：11959kg 箱抜き部支保工撤去：30410kg	—
インパート妻型わく費	インパートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。	インパート妻型わく：1654.6 m ²	—

割掛対象表参考内訳書 4 /5			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
プラント冬季養生費	トンネルの吹付プラント設備の冬季養生及び練り混ぜ水用のヒーター、ボイラー等に要する費用をいう。	設定温度：5℃ 気積：約 1,200 m ³ 期間：21.4 ヶ月	
汚濁水処理設備 冬季養生費	トンネルの汚濁水処理設備の冬季養生に要する建屋、ヒーター等に要する費用をいう。	設定温度：5℃ 気積：約 500 m ³ 期間：22.0 ヶ月	—
【雑工事費】			
割掛対象表の項目名称	工事の内容	数量内訳（参考）	図面
切土部施工基面の整形費	共通仕様書 2－6－5（6）の規定を満足するよう、上部路床面の不陸整正に要する費用をいう。	切土部施工基面の整形：2,341.3 m ² 土砂： 922.7m ² 軟岩：1,418.6m ²	—
のり面仕上げ費	共通仕様書 2－6－5（8）及び 2－7－5（6）に規定する作業に要する費用をいう。	盛土部のり面仕上げ（1：1.8）：21,728 m ² 切土部のり面仕上げ（1：1.8）土砂：1,236 m ² 切土部のり面仕上げ（1：1.5）軟岩：284 m ²	—
沈砂池費	降雨により、浸食・崩壊を受けた土砂が近隣の民地、山林、田畑、河川、海等へ流出する恐れのある場合に設ける仮設池に要する費用をいう。	【切土・盛土施工時】 本線部 STA.828+60 付近：1 箇所 （沈砂池：65m ³ 程度、ブルーシート（3.6×5.4：8 枚、土のう 75 袋） 本線部 STA.832+60 付近：1 箇所 （沈砂池：50m ³ 程度、ブルーシート（3.6×5.4：6 枚、土のう 67 袋） 本線部 STA.835+10 付近：1 箇所 （沈砂池：65m ³ 程度、ブルーシート（3.6×5.4：8 枚、土のう 75 袋）：1 箇所	—
火薬取扱い費	火薬の取扱いに要する費用をいう。	火薬使用期間 掘削期間：42.8 ヶ月 （割岩掘削工法 0.6 ヶ月を除く）	—
構造物水抜穴費	コンクリート構造物に設置する水抜穴に要する費用をいう。	C－B x：VP（φ40）L＝56.7m 抱き擁壁：VP（φ75）L＝18.6m 透水材：30cm(t＝5cm) L＝58.7m	—
目地材費	コンクリート構造物の継目に設置する目地材に要する費用をいう。	抱き擁壁：目地板（t＝2cm）40 m ² C－B x：目地板（t＝2cm）18 m ² 大型コンクリートブロック積み（t＝2cm）16.3 m ² 2号補強土壁工（t＝2cm）4.8 m ² 3号補強土壁工（t＝2cm）469.7 m ² 4号補強土壁工（t＝2cm）3.3 m ²	—
箱抜き費	トンネル防災設備等のための覆工コンクリートの箱抜きに要する費用をいう。	箱抜き部型枠：783.0 m ² 箱抜き部補強プレート設置：11959kg 箱抜き部支保工撤去：30410kg	—
インパート妻型わく費	インパートコンクリート打設のための妻型わく及び非常駐車帯妻部の型わくに要する費用をいう。	インパート妻型わく：2126.1 m ²	—

正誤表(22)

工事件名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

[illegible]